



# 株式会社プラントライフシステムズ

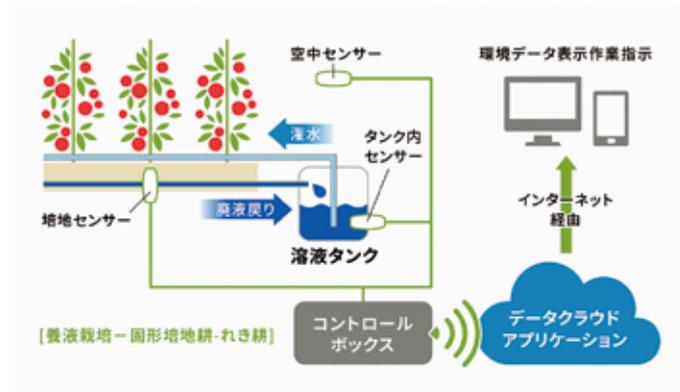
環境・エネルギー

バイオ・アグリ



作物の成長関数を大学と共同で開発した知財を用いて、様々な作物の収穫量、品質の向上をする技術を提供しているディープテックカンパニーである。

特に弊社はバイオテクノロジーをソフトウェア化して世に提供するだけでなく工業原料となる収穫量の向上等にも応用されつつあります。



トマト栽培農場（顧客例）



弊社システムを使用して栽培したトマト



弊社開発農場にて実験栽培を行っております。

## 得意技術

- ・弊社の本質的価値は、より多くより高機能を世に提供することです。
- ・弊社は植物の成長関数（数理モデル）を用いたサービスを提供しています。
- ・基本技術は植物が生育するのに困難な培地を用いて、その培地における優位性を成長関数で解くことで深い知識や経験が少なくとも農事業を確立できる技術を提供しております。
- ・弊社は自動車制御等の開発で活用されている「モデルベース開発（MBD）」の手法を用い、工業的な制御の視点で農業生産を支援する生体制御プログラム「みのりっちシステム」を開発及び販売しています。
- ・生体AI技術を利用したシステム「みのりっちシステム」は、勘や経験に頼らない農業をサポートします。スマートフォン等のデバイスにて閲覧可能なアプリケーションの栽培指示に従い作業を行う事で、農業の経験がない方にも高糖度のトマトを栽培できるだけでなく、収穫量もアップする事が可能です。

## 主要事業・主要製品

多種農作物、資源作物の成長関数の開発  
農作物栽培支援システムの開発、導入支援

## 得意な顧客・市場分野

新規事業や社会貢献として農業参入をお考えの事業者様や農業法人等。

## 今後の展開について

- ・作物以外の成長関数を提供し、他社との協業を図る。例：ゴム、牧草等
- ・ミニトマトの栽培支援システムだけではなく、大玉トマトやメロンなど高機能性作物のニーズがある作物で栽培支援システムの開発を進める。
- ・出口を見据えた他社が持ち得ないニーズや高機能性を作物に実装し、マーケットでの差別化を図り最終的には導入ユーザーの利益を向上させる。

## グローバルビジネス

商社と協業し、中国にて実証試験を実施中。

## SDGs 取組

弊社の栽培方法は、かけ流しとは異なり、循環型灌水を用いているため、最大限水を活用し、培地についても連作障害が起きない培地を利用することで、永年活用することができるなど、持続可能な栽培方法を取り入れている。

## 受賞実績

令和2年度 横浜知財みらい企業認定  
株式会社三菱総合研究所「ビジネスアイデアコンテスト2017（水・食料）」最優秀賞受賞

## 公的助成事業 受託

平成26年度 総務省 ICT イノベーション創出チャレンジプログラム [I-Challenge!]  
平成27年度 総務省 ICT イノベーション創出チャレンジプログラム [I-Challenge!]

## 取引先金融機関

三井住友銀行、三菱UFJ銀行、みずほ銀行、きらぼし銀行

名称	カブシキガイシャプラントライフシステムズ 株式会社プラントライフシステムズ	代表者	松岡 孝幸	担当窓口	加藤 浩美	資本金	35,125万円	従業員数	9名
所在地	〒222-0033 横浜市港北区新横浜 3-24-5 新横浜ユニオンビル ANNEX5 階			TEL	045-565-9592	FAX	045-565-9598		QRコード
HP	https://plantlife.jp			E-mail	support@plantlife.jp				